

令和元（平成31）年度 学校マネジメントシート

学校名（ 四日市四郷高等学校 ）

1 目指す姿

(1) 目指す学校像		地域・家庭との連携により 夢と志を持って生きる力を育む学校
(2)	育みたい生徒像	<p>○知・徳・体のバランスの取れた生徒</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進路実現に向け、目的意識を持ち主体的に学習や学校活動に取り組む生徒 ・正義感、規範意識、自他の生命の尊重と他者への思いやりの心を持つ生徒 ・生涯にわたりたくましく生きることができる健康な体や体力を持った生徒
	ありたい教職員像	<p>○四日市四郷高校の職員であることに使命感と誇りを持って職務に取り組む教職員集団</p> <ul style="list-style-type: none"> ・円滑な校務運営と課題解決のため、コミュニケーションとチームワークを大切にする教職員 ・生徒の社会的自立と進路実現に向け、情熱と主体性を持って指導に取り組む教職員 ・学校目標実現のため、地域や保護者と連携した取り組みや実践活動を行う教職員 ・自ら課題の発見に努めるとともに、自己の指導力向上に取り組む教職員 ・変えるべきものと、変えるべきでないものを冷静に識別し、勇気を持って改革への実践的取組ができる教職員

2 現状認識

(1) 学校の価値を提供する相手とそこからの要求・期待	<p><生徒></p> <ul style="list-style-type: none"> ・落ち着いた環境で楽しく興味深い授業が受けられること。確実に学力を伸ばせられること。部活動を充実させて、熱心な指導を受けられること。社会に通ずる礼儀・マナーを身につけること。 <p><保護者></p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活習慣を身につけ、社会において必要な生きる力（知識と技能）を身につけること。 ・希望する進路を実現すること。 <p><中学校></p> <ul style="list-style-type: none"> ・明確な教育目標を示すとともに、多様な生徒を受け入れること。丁寧で細やかな指導と、確実な進路保障。 <p><地域住民></p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共のマナーを守ること。 ・地元の行事等を通して地域との交流を深め、活性化に貢献してくれること。 ・災害時における支援の担い手として活躍すること。 				
	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width:50%; text-align: center;">連携する相手からの要望・期待</th> <th style="width:50%; text-align: center;">連携する相手への要望・期待</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <p><保護者及び学校関係者></p> <p>様々な情報の提供。学校との信頼関係。</p> <p><地域住民></p> <p>地域へのボランティア活動や地域の行事等への参加。</p> <p><中学校></p> <p>キャリア教育の観点での協力。更なる信頼関係。</p> <p><企業・大学等></p> <p>社会人としてふさわしい知識、態度の定着、向上。高等学校レベルの学力の習得。</p> </td> <td> <p><保護者及び学校関係者></p> <p>教育活動への理解、協力と積極的な関わり。</p> <p><地域住民></p> <p>ボランティア活動や地域行事等を通じての生徒の育成。</p> <p><中学校></p> <p>義務教育レベルの学力の定着。キャリア教育の観点での進路指導。</p> <p><企業・大学等></p> <p>就業体験やオープンキャンパスの機会創出と受け入れ。就業、入学前の事前指導。</p> </td> </tr> </tbody> </table>		連携する相手からの要望・期待	連携する相手への要望・期待	<p><保護者及び学校関係者></p> <p>様々な情報の提供。学校との信頼関係。</p> <p><地域住民></p> <p>地域へのボランティア活動や地域の行事等への参加。</p> <p><中学校></p> <p>キャリア教育の観点での協力。更なる信頼関係。</p> <p><企業・大学等></p> <p>社会人としてふさわしい知識、態度の定着、向上。高等学校レベルの学力の習得。</p>
連携する相手からの要望・期待	連携する相手への要望・期待				
<p><保護者及び学校関係者></p> <p>様々な情報の提供。学校との信頼関係。</p> <p><地域住民></p> <p>地域へのボランティア活動や地域の行事等への参加。</p> <p><中学校></p> <p>キャリア教育の観点での協力。更なる信頼関係。</p> <p><企業・大学等></p> <p>社会人としてふさわしい知識、態度の定着、向上。高等学校レベルの学力の習得。</p>	<p><保護者及び学校関係者></p> <p>教育活動への理解、協力と積極的な関わり。</p> <p><地域住民></p> <p>ボランティア活動や地域行事等を通じての生徒の育成。</p> <p><中学校></p> <p>義務教育レベルの学力の定着。キャリア教育の観点での進路指導。</p> <p><企業・大学等></p> <p>就業体験やオープンキャンパスの機会創出と受け入れ。就業、入学前の事前指導。</p>				
(2) 連携する相手と連携するうえでの要望・期待					

(3) 前年度の学校関係者評価等		<p>○生徒指導に関しては、化粧やスカートの長さの指導を継続して行い、身だしなみの徹底をしていく必要がある。また、提出物等の期限が守れない等、将来社会に出たときに不安がある生徒については、学校での指導方法の構築が必要である。</p> <p>○地域の文化祭や防災訓練への参加等、地域とのより一層の連携強化が必要である。</p> <p>○授業改善と資質向上のため、さらに教員相互の授業見学の機会を増やす。また、過重労働の解消を推進させ、働きやすい職場環境づくりに努めるべきである。</p>
(4) 現状と課題	教育活動	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の多くが落ち着き、コースの特色をいかした学習に取り組むことが出来つつあるが、意欲的かつ主体的に学習活動に取り組む者は、まだ限られている。 ・基礎学力の不十分な生徒が多数いる。
	学校運営等	<ul style="list-style-type: none"> ・5年、10年後の四日市四郷高校の未来を見据えた学校づくりを念頭に入れ、学校の魅力を中学校や地域に向けて効果的に発信していく必要がある。 ・組織間の連携体制が不十分なため、特定の教員に負担がかかっている。

3 中長期的な重点目標

教育活動	<ul style="list-style-type: none"> ①学習意欲の向上と基礎学力の定着にむけた授業改善、授業研究等の推進。 ②学習習慣の定着と主体的進路選択が行える力を育成するキャリア教育の充実。 ③規範意識の向上と道徳心の醸成。豊かな感性の育成。 ④運動知識の拡充と健康管理上の実践力の向上。 ⑤地域に根ざした教育活動の推進と特色を備えた教育活動の実施。
学校運営等	<ul style="list-style-type: none"> ①時代や社会の要求に応え、持続可能な教育活動を行うためのカリキュラムマネジメント。(コース制の再編・見直し、新学習指導要領や入試改革に対応した教育課程の作成等) ②家庭や地域とのさらなる交流による、開かれた学校づくり。 ③組織、職員間の連携体制を構築し、組織力向上と業務内容の見直し等による過重労働の解消。 ④コンプライアンス意識の高い職場風土の醸成及び、不祥事根絶に対する職員個々の意識改革。

4 本年度の行動計画と評価

(1) 教育活動

項目	取組内容・指標	結果	備考
①	<p><1学年></p> <p>全商英語検定や基礎力診断テストで、基礎学力の定着に努める。</p> <p>【取組指標】</p> <p>一学年の全商英検3級受験とその対策授業を実施する(英語科)</p> <p>【成果指標】</p> <p>①国語、数学、英語でD3-がそれぞれ10名以下。</p> <p>②全商英語検定3級の合格70%以上。</p> <p><3学年></p> <p>学習意欲の向上のために、校外模試の実施</p> <p>【取組指標】</p> <p>4回の校外模試を実施。</p> <p>【成果指標】</p> <p>四年制大学進学希望者 全員合格</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎力診断テスト 4月 D3- 6名 1月 国語 0名 数学 3名 英語 7名 ・全商英語検定合格65% ・校外模試 4回全て実施 ・四年制大学 全員合格 	

	<p><教務> 生徒の基礎学力の定着</p> <p>【取組の指標】 1,2年生の創郷の時間によるマナトレの実施と認定テストの実施前指導と事後指導</p> <p>【成果指標】 マナトレ認定テストで1年生・2年生とも4級まで全員合格。</p> <p><図書> 学習の基礎となる「自ら学ぶ力」を育成するため、図書館資料を計画的に活用した授業を推進し、「学び方」を身につけるよう支援する。</p> <p>【取組指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全学年で、図書館資料を活用した授業を8教科以上で実施。 ・「創郷」で計画的に図書館教育を実施、検討。 ・図書館活用授業の事例を収集、情報共有。 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用率（一度でも借りた生徒の割合）50%以上 ・職員向け広報の発行（年2回） <p><朝の読書> 「朝の読書」は集中力をつけるとともに、あらゆる学びの基本となる「読む力」を育成する大きな原動力となる。そうした意義を改めて問い直しつつ、現状と課題を検討する。</p> <p>【取組指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒、職員にアンケートを実施（年2回、年1回） ・朝読委員会の開催（年2回） ・「朝の読書」の効果的な実施に向け、他校の実践に学ぶ。 ・三重県朝の読書交流会に参加し、研修および情報収集を行う（8月） <p><国語科> 年間通じて行なう漢字小テスト（漢字検定基準に基づく）において基礎学力の定着に取り組む。</p> <p>【成果指標】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・1年生は授業内容の変更により7級までの認定テストとなった。 1年生 のべ8名 2年生 のべ14名の不合格者 <ul style="list-style-type: none"> ・図書館活用した授業を6教科で実施 ・「創郷」の授業で1年学期1回、2年修学旅行事前学習 ・図書館活用の事例収集を行い、提供 ・図書館利用率32.8%(1年59%2年15.1%3年27.9%) ・新着案内をデスクネットで広報 <ul style="list-style-type: none"> ・生徒アンケート1回実施 ・朝読委員会1回開催 ・研修に参加、他校に学び2学期より蔵書のクラス貸出実施 <ul style="list-style-type: none"> ・漢字検定プレ/テスト
--	--	--

	<p>学年末時に漢字検定協会のプレ・テスト等を行ない、1学年4割以上の4級合格、2学年2割以上の3級合格、3年3割以上の3級合格。</p> <p><地歴公民> 授業改善、授業研究 【取組指標】 ・授業見学週間の中で研究授業を実施。 ・学期末に生徒対象の授業の理解度を調査。 【成果指標】 学年末に教科全体で生徒にアンケートをとり、理解している割合が全体の80%以上。</p> <p><数学科> 年2回の授業公開週間を活用し、教員間の授業を見学し授業改善、授業研究に努める。 【取組指標】 みえ基礎学力UPコンソーシアムに参加し、他校の取り組みや公開授業を通じて基礎学力の定着に向けた実践研究をし、教科会等で情報交換を行なう。 【成果指数】 各学期に生徒満足度アンケートをとり、満足度90%以上。</p> <p><理科> 積極的に研修へ参加する。 【成果指標】 研修への参加平均1.0回/人以上。</p> <p><芸術科> 音楽、美術、書道それぞれの生徒の技能向上となるために必要に応じて補習授業を設定するなど、授業改善に取り組む。 【取組指標】 3学期に振り返りアンケートをとる。 【成果指標】 生徒の授業満足度80%以上。</p>	<p>1年生は実施できず。(休校のため) ・2・3年生は達成</p> <p>・研究授業は、2学期に3年生政治経済で実施。 ・授業理解度調査は各学期末に実施。 1学期約72% 2学期約75% 3学期約85% (3学期は3年生のみ)</p> <p>・コンソーシアムにおける基礎学力テストを独自に作成し生徒の課題点を教科会等で情報共有できた。 ・満足度アンケートは実施できず。(休校のため)</p> <p>・研修への参加平均1.4回/人 ただし参加したのは2/5人</p> <p>・課題提出に授業時間だけでは時間不足の生徒に対応して、放課後に課題作成の補習授業を行い未完成のまま作品提出する生徒を減らした。また、各学期で赤点補填のため</p>
--	--	--

		<p>の補習授業を行い、各生徒の達成できていない課題に取り組ませ次学期への準備が出来た。</p> <p>3学期に授業振り返りアンケートをとった結果、生徒の授業満足度は以下の通り。</p> <p>音楽:96.6%</p> <p>美術:96.0%</p> <p>書道:99.0%</p>	
②	<p><1 学年></p> <p>自分の進みたい進路（就職・進学）を具体的に考える意識をつける。</p> <p>【取組指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・適性診断を実施して自分の適性を知る。 ・長期休みのオープンキャンパスへの参加を勧める。 <p>【成果指標】</p> <p>進路未決定者を全体の5%以下。</p> <p>四年制大学進学希望者に進路指導部と連携し進学説明会や課外、模擬試験を実施する。</p> <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四年制大学進学希望者全員課外への参加。 ・四年制大学進学希望者全員模擬試験受験。 <p><2 学年></p> <p>学習習慣定着のために学習記録表の活用をすすめる。考査期間前に学習計画表を作成させ、やるべき課題とそれに必要な時間を意識させ、家庭での学習時間を増やす。</p> <p>【取組指標】</p> <p>考査ごとに作成し提出させる。</p> <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習計画表の提出100%。 ・考査前2週間の目標学習時間を達成した者70%以上。 <p>基礎学力の定着へ向け、テスト結果がD3-の生徒を集め教務部と連携しながら補習にしっかりと取り組ませる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・1学期に適性診断実施 ・オープンキャンパス参加 11% ・進路未決定者 21% <ul style="list-style-type: none"> ・模擬試験受験者は全員課外に参加 ・模擬試験受験者 5月6名 1月5名 <ul style="list-style-type: none"> ・100%だったが、締切りまでに提出できなかった生徒が20%程度いた。 ・考査前2週間の目標学習時間を達成あるいは、ほぼ達成した者が64.6%と目標を下回った。 <ul style="list-style-type: none"> ・補習への参加率は100% 	

	<p>【取組指標】 学期ごとに補習を実施する。</p> <p>【成果指標】 補習への参加率 100%</p> <p>自分の進みたい進路（就職・進学）を具体的に考えるために、進路資料室を積極的に活用させる。また、早期に具体的進路先を考え、夏季休業など長期休みのオープンキャンパスへの参加を勧める。</p> <p>【取組指標】 進路資料室には各大学短大専門学校のご案内資料や過去の求人票があることを学期ごとに繰り返し紹介し、積極的な活用を呼びかける。</p> <p>【成果指標】 年度末に進路資料室利用状況アンケートをとり、利用者が学年の30%以上。専門学校や大学・短期大学のオープンキャンパスへ進学希望者全員参加。</p> <p>進学希望者対象に毎週及び長期休業中に進学課外を実施し、また校外模試を挑戦させ、数学と英語の学力を向上させる。</p> <p>【成果指標】 校外模試の全国偏差値50以上。</p> <p><3 学年> 学習記録表の活用、学習計画表（週間）の活用</p> <p>【取組指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年度当初に、学習計画表（週間）を書かせる。 ・考査ごとに、学習記録表を書かせる。 ・予定通りに行動できなかつた者、予定通り行動できたが、成績が振るわなかつた者は担任から改善指導を行う。 	<p>・進路資料室利用者が学年全体の14.8%と目標よりかなり低い結果であり、活用への呼びかけが不足した。また、進学希望者のオープンキャンパスの参加者は51.4%であった。昨年度の12%からは上昇したが、まだまだ進学への準備が遅い生徒が多い。</p> <p>・校外模試の全国偏差値50以上は数学では21名中10名、英語では21名中2名が達成した。しかし、教科により点数差が大きかったため、総合では偏差値46であった。</p> <p>・学習計画表記入100% ・学習記録表ほぼ100% 60%弱の生徒が目標学習時間に近い時間数は学習を行っている。生徒の評</p>	
--	--	--	--

	<p>一般常識サポートドリルを定期的に提出させる。</p> <p>【取組指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 提出前に課外授業を実施し、理解をすすめる 提出回数を夏休み前に、3回実施 <p>【成果指標】</p> <p>提出率 100%</p> <p>就職希望者全員内定</p> <p><教務></p> <p>学習意欲の向上を目指した授業改善</p> <p>【取組指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 年2回校内授業見学週間の実施 年1回の授業改善研修の実施 <p>【成果指標】</p> <p>年2回実施の学習アンケート「勉強がもっとできるようになりたいと思う」項目で「当てはまる・どちらかといえば当てはまる」が平均90%以上。(昨年度平均86.7%)</p> <p><進路指導></p> <p>キャリアプランの見直し</p> <p>【取組指標】</p> <p>各学年の目標と、指導内容の整合性を明確化する。</p> <p>【成果指標】</p> <p>各学年において、昨年度の指導内容からの改善(変更)を3点以上行う。キャリア教育プログラムシートを完成させる。</p> <p><商業・情報></p> <p>キャリア教育の推進のため、情報コースの生徒に大学の教員に</p>	<p>評価基準がまちまちとなり、対応が難しかった。学習記録表の評価が十分に指導に利用できていない。もっと明確に評価基準と指導体制を作るべきであった。まったく勉強をしていない生徒がいる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 課外授業は設定したが、参加者はいなかった。 提出率 ほぼ100% 内定が決定していない者が1名いる。 授業改善研修にかえてポートフォリオの教員向け研修を行った。 勉強ができるようになりたい 84.2% :達成できなかった 明確化できていないため、学年・分掌と連携していく。 名古屋学院大学 	
--	--	--	--

	<p>よる「企業の人的資源、進路選択の話」などの講義を企画する。</p> <p>【成果指標】 講義後のアンケート等を実施して満足度90%以上。</p> <p><数学科> 月2回の週末課題を実施し、家庭学習時間を確保することで学習習慣の定着を図る。</p> <p>【成果指数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間で集計をとり、提出率100% ・定期的に模試に向けた進学課外を行い、学力向上を図る。 <p>【取組指数】 模試前に進学課外を2回以上行う。</p> <p><地歴公民> 授業規律の確立</p> <p>【取組指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業開始時の生徒の教材、服装身だしなみの点検をする。 ・授業中の私語、居眠り、携帯電話使用への厳格な指導。 <p>【成果指標】 実施率100%。</p> <p><理科> 学習習慣の定着がみられない生徒に対し、長期休み等に補習を行う。</p> <p>【取組指標】 学習習慣の定着指導を対象生徒全員に行う。</p> <p>【成果指標】 指導率100%</p> <p><家庭科> 授業開始時の持ち物確認と環境整備につとめる。</p> <p>【取組指標】</p>	<p>の教授に出張講義をしてもらった。</p> <p>90%以上の生徒が「大変参考になった」「少し参考になった」と回答しており、概ね満足した結果となった。</p> <p>・週末課題を変更し、月2回の小テストを定期的に行った。合格に満たない場合は追試験を行い、基礎学力の定着を図った。</p> <p>・模試前の進学課題は2回以上行うことができた。</p> <p>・授業での点検・指導はおおむね達成できた。居眠りについて一部達成できなかった。</p> <p>・対象生徒全員に補習を行うことができた。</p> <p>・毎回の授業前に持ち物確認を行うこ</p>
--	---	--

	<p>毎回の授業で、始めに持ち物確認を行い、机上に不要物があれば片付けさせて学習に向かいやすい環境を作らせる。1学期で徹底して指導を行い、2学期以降は自主的に授業を受ける姿勢を整えられるように改善していく。</p> <p>被服実習では、ミシンやはさみの扱いを学ばせる。道具の危険な一面を知り、正しい使い方を習得させる。</p> <p>【取組指標】 被服実習で全員がミシンに触り、一人で扱えるようにサポートする。</p> <p>【成果指標】 実習後の自己評価でミシンが使えるようになったと回答する生徒が80%以上。</p> <p>調理実習では、ガスや包丁を扱わせる。扱いに注意しつつ、便利に扱う方法を習得させる。</p> <p>【取組指標】 食事を作ることの苦手意識を少しでも減らし、健康管理について考えさせる。</p> <p>【成果指標】 実習後の自己評価で、自分の班での役割を果たせたと回答する生徒が80%以上。</p>	<p>とができた。2学期以降については慣れが出てしまい、授業開始後にロッカーへ荷物を取りに行く生徒も数名いた。</p> <p>・被服実習については、全員がミシンを扱い作品を完成させることができた。ミシンが使えるようになったと回答する生徒は65～75%とクラスによって差があり、80%には満たなかった。</p> <p>・調理実習については、何かしら役割を果たせたと回答する生徒がほとんどで、達成感を持って実習に取り組めた。</p>	
③	<p><1 学年></p> <p>毎日の授業にきちんと取り組むために、授業規律を守り、落ち着いた態度で授業に取り組むことを意識させる。</p> <p>【取組指標】 朝の読書への自主的な取組、休み時間での授業準備と移動教室への移動完了、教室での授業時携帯電話は鞆の中へ入れる、予鈴での着席。</p> <p>【成果指標】 年度末に生徒に振り返りアンケートをとり、達成者が学年の80%以上。</p> <p>基本的な生活習慣、礼儀、言葉遣いを正し、公共心と安全な生活に必要な能力と態度を育てる。</p>	<p>・落ち着いた態度で授業に取り組む 82%:達成できた</p> <p>・携帯電話を適切に使用できる 94%:達成できた</p> <p>・期限までの提出 87%:達成できた</p> <p>・45名皆勤(1月末)</p> <p>・学期遅刻者</p>	

	<p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・無遅刻・無早退者を基本的生活習慣の指標として、それを含む1年間皆勤者を成果指標とする。1年間皆勤者50名以上。 ・学期遅刻5回の生徒が各学期5名以内。 ・交通事故数を年間5名以下。 ・ルールやマナー等を守る規範意識の習得、制服の正しい着こなしの遵守。 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年度末に生徒に振り返りアンケートをとり、校則の遵守、制服の正しい着こなしができた生徒が学年の80%以上。 ・教育的指導措置対象者10名以下。 <p>集会など団体行動を通して、協調性や他者を思いやる態度を身につける。</p> <p>【取組指標】</p> <p>集会へは休み時間内での集合完了、室長が点呼、報告を行う。</p> <p><2 学年></p> <p>社会で守るべきルールとして期限を守る習慣を付けるために、様々な提出物を期限までに提出できるよう取り組ませる。</p> <p>【取組指標】</p> <p>学校締切りの2日前を学年提出期限に設定する。それを越えて締め切り日までに提出できなかった生徒にはその日に自宅へ取りに帰らせる指導をし、全員が提出するまで徹底させる。</p> <p>【成果指標】</p> <p>期限までの提出100%</p> <p><3 学年></p> <p>道徳心の醸成、豊かな感性の育成のために、学年通信の作成・発行</p> <p>【取組指標】</p> <p>1回/月を目標に担任が輪番で通信を作成する。</p> <p><教務></p> <p>授業規律の確立</p> <p>【取組の指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業開始時の持ち物チェックの徹底 ・授業遅刻5回以上の生徒の指導 ・授業見学週間時の巡回 ・授業見学週間時に各教員週1時間巡回の時間を設ける。 	<p>1学期 なし</p> <p>2学期 10名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通事故件数9件の事故 ・校則の遵守 93%:達成できた ・制服の着こなし 94%:達成できた ・謹慎者2名 <p>・おおむね達成できた。</p> <p>・期限までの提出の100%を目指したが、一部生徒が締切りを守れなかった。全員提出することは達成できた。</p> <p>・実施できた。</p>	
--	--	--	--

	<p>【成果指標】 年2回実施の学習アンケート「授業では、落ち着いた気持ちで勉強できている」項目で「当てはまる・どちらかといえば当てはまる」が85%以上。(昨年度は80.7%)</p> <p><人権> 生徒の人権意識向上のため、人権LHRを実施する。人権LHRは、授業力向上のため公開とする。</p> <p>【取組指標】 人権LHRは各学年学期毎に1回実施。授業公開は年1回。</p> <p>【成果指標】 全ての人権LHRの参加生徒、職員研修の参加職員の満足度80%以上</p> <p>職員の人権意識向上のため、校内での職員人権研修を実施するとともに、校外も含め全職員へ研修・研究会への参加を積極的に促す。</p> <p>【取組の指標】 校内での職員人権研修は年1回。校外も含め職員1人1回以上参加を促す。</p> <p>校外で実施される交流会に積極的に参加し、他校の生徒・職員や地域の方々との交流をはかる。</p> <p>【取組指標】 年2回以上の参加。 情報交換と課題解決のため、地域人権啓発機関との交流を積極的にはかる。</p> <p>【取組指標】 年3回以上交流。</p> <p><図書> 幅広い文化に接し、かつ自ら体験・表現する機会を増やし、豊かな感性を育む。</p> <p>【取組指標】 ・文化講座開催。(2回以上) ・図書委員会企画のイベント等、開催。</p> <p><生徒会> 主体的な進路選択を行い、社会で活躍できる力を育成するため、生徒自身が積極的に意見を出し、学校活動に取り組む姿勢</p>	<p>・落ち着いた気持ちで勉強できている 81%:達成できなかった。</p> <p>・人権LHRの各学期1回実施。授業公開はできなかった。 ・職員研修の満足度84%:達成できた</p> <p>・職員研修 2回実施</p> <p>・年3回以上の他校、地域人権啓発機関との交流ができた。</p> <p>・2月実施 ・文化祭企画、放課後ビブリオバトル実施</p> <p>・生徒会主催の企画の立案(文化祭) ・生徒会役員を中心</p>
--	--	---

	<p>を身につけさせる。</p> <p>【取組指標】 四郷祭体育部門や文化部門など、生徒自身で企画の立案等を行う。</p> <p>【成果指標】 企画後にアンケート等を実施し、満足度 90%以上。</p> <p><生徒指導> スカートの改竄や折り曲げをなくすため、毎朝の登校時や集会などで指導をする。授業時やそれ以外でも取り組んでもらえるよう職員全体に働きかける。</p> <p>【成果指標】 昨年度の改竄指導件数の半減。朝の登校時においては注意する生徒がいない日を1日以上。</p> <p>化粧をなくすため、毎朝の登校時や集会などで指導をする。授業時やそれ以外でも取り組んでもらえるよう職員全体に働きかける。</p> <p>【成果指標】 学期末に行なう作業生徒数の半減。朝の登校時においては注意する生徒がいない日を1日以上。化粧落としの購入代金の半減。</p> <p>校内の美化に努める。生徒全員が掃除活動にあたり、割り当てられた区域以外も気がつけば清掃を心掛けるようにする。</p> <p>【成果指標】 年度末、生徒に清掃に関して意識が変わったかのアンケートをとる。変わったと回答する生徒半数以上。</p> <p><朝の読書> 学年と連携し、状況把握する。生徒が興味・関心をもって取り組めるよう、細やかな支援を行う。</p> <p>【取組指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館の本を学級文庫として配置 ・昇降口での出張図書館 ・本の紹介・案内 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒アンケート 満足度70%以上 ・貸出率（1人あたり貸出冊数）4.0冊以上 	<p>とした生徒主体の行事立案および運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校外活動への積極的参加 ・満足度 90%以上:達成できた <p>・達成できた</p> <p>・登校時指導は達成できた。化粧おとし代については昨年度より減少したが、半減まではいかなかった。</p> <p>・意識が変わった生徒が半数以上で達成できた。</p> <p>・従来の学級文庫に合わせて、2学期より図書館の本を各クラス10冊配置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒アンケート実施できず。(休校のため) ・貸出率 3.4冊 (1年 5.0冊・2年 2.5冊・3年 3.0冊)
--	--	---

	<p><保健> いきいき講座（学年別講演会）を実施し、自他ともに心と体をいとい、命を大切にすゝる気持ちを育てる</p> <p>【取組指標】 年1回いきいき講座</p> <p>【成果指標】 生徒満足度70%以上</p> <p><商業・情報> 規範意識の向上と道徳心の醸成のため、スマートフォンの利用、肖像権に関する具体的問題事例を適宜授業に取り入れる。</p> <p>【成果指標】 スマートフォンの適切な利用方法が理解できたかをアンケートを実施し、理解度90%以上。</p> <p><数学科> 授業始めに持ち物・化粧・服装のチェックを行い、規範意識の向上に努める。</p> <p>【成果指数】 ・年間でチェック項目に5回以上該当する生徒を0にする。</p> <p><地歴公民> 人権教育の推進</p> <p>【取組指標】 ・本校人権教育推進計画に基づき、授業の中で民主化運動、多文化主義等人権に関わるテーマを積極的に取り上げ、生徒の人権意識を高める。 ・授業の中でその時々々の事件、事故のニュース等を紹介し、命の大切さにもふれる。</p> <p>【成果指標】 学年末に教科全体で理解度指数を平均80%以上。</p> <p>主権者教育の推進</p> <p>【取組指標】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・1年生 性教育講座「高校生の性について考える」 ・2年生 性教育講座「命について考える授業～自分を大切にしよう～」 ・3年生 がん教育「がんを学ぶ」各学年満足度達成できた。 ・授業にて、SNSに関する動画を見せた。実施できたクラスの生徒の理解ではほぼ100%であった。 ・持ち物を無くしてしまふ生徒がおり、注文し品物が届くまで持ち物にチェックが付き5回以上該当する者がいた。 ・DVD映像を使い、様々な国の文化・風習等を紹介した。 ・クールジャパンを語る中で、京都アニメーション放火事件にもふれ、命の大切さを共に考えた。 ・理解度指数80%に届かず：達成できなかった ・実施できず。(休校)
--	--	--

	<p>公民科の教科を中心に、生徒在学中の選挙権取得、将来の18歳成年制を念頭に置いて、生徒の政治への関心を高める授業を行う。</p> <p>【成果指標】 学年末に教科全体で理解度指数を平均80%以上。</p> <p><保健体育> 運動部活動の推進。教科の特性から運動部活動との連携を図り競技力だけではなく道徳観に基づいた指導などの指針を示す。</p> <p>【取組指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・積極的に運動部活動への加入を勧める。 ・各運動部に対する指導を行う。 ・運動部活動部員に対してライフスキルの指標を提示し、レベルに応じた目標達成に向けた取り組みを各運動部活動毎に行わせる。 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・40%以上の生徒の加入 ・部活動別ライフスキルの作成 100%。 <p><理科> 授業規律保持の取り組みとして、理科全体で問題に対処するそれにより、生徒の規範意識の向上を図る。</p> <p>【取組指標】 適宜、全体で指導を行うことで、年度当初の授業計画通り授業を進める。</p> <p>【成果指標】 進捗率100%。</p>	<p>のため)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動部集会年1回実施。キャプテン会議を年3回実施。全クラブライフスキル表提出 ・生徒の加入率 1年生 57.5%、 2年生 43.5%、 3年生 41.2%、 全体 47.0% ・ライフスキル指標提出 100% <ul style="list-style-type: none"> ・年度当初に取り決めを行ったが、途中で担当教諭の交代もあり機能しない点もあった。 	
④	<p><1 学年> クラブ活動への積極的な参加を勧め、強靱な体力と精神力を養う。</p> <p>【成果指標】 年度最終時点でクラブ活動徒数が学年全体の80%以上。</p> <p><2 学年> 皆勤者（無遅刻無早退無欠席）を学期末に全体で表彰し、健康管理のできる生徒を増やす。</p> <p>【取組指標】 学期ごとの皆勤者数を学年集会で紹介し、卒業後に社会へ出て行くにあたり、体調を自己管理できることの重要性を伝える。</p> <p>【成果指標】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・クラブ加入率 68% <ul style="list-style-type: none"> ・1学期と2学期の皆勤者を学年集会で紹介し、体調管理の重要性を伝えた。 ・年間の皆勤者数 	

	<p>年間の皆勤者数が一学年次より上回る。(昨年度は25%)</p> <p><3学年> 健康管理上、遅刻、早退、欠席をしないように、生徒への対応、家庭への連絡を密にする。</p> <p>【成果指標】 遅刻、早退、欠席数が昨年度より10%削減。</p> <p><図書> 進路・運動・健康を考えるための図書等を自分で調べられる力を身につける。そのため、資料の充実をはじめとした環境整備とともにレファレンス等、細やかな支援を行う。</p> <p>【取組指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「進路コーナー」設置 ・「進路」「健康」等、関連テーマコーナー設置(年12回) ・資料の更新・充実(年1,000冊以上購入) ・授業とのコラボ(スポーツ概論ほか) <p><保健> 学習にふさわしい健康的な環境を整える</p> <p>【取組指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期健康診断の実施 ・定期環境衛生検査の実施 ・SC, 発達障がい支援員, SSWの活用 ・ケース会議の開催 <p>【成果指標】 健康診断生徒受診率90%以上</p>	<p>21.9%:達成できなかった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・連絡が無い場合や同じ状況が続く場合は、こまめに連絡を取った。だが、1学期より昨年度を上回る数であり、2学期に入るとさらに回数は増えた。同じ生徒による遅刻、欠席が増加の理由となっている。 ・コーナー常時設置した。また、行事や授業内容に合わせて別置も行った。 ・複数のコーナーを同時設置(8回) ・年間購入は全体で543冊(昨年607冊) ・廃棄数872冊 ・1年での授業活用が増えた。 ・水質検査(6月)照度検査(9,12月)空気検査(1月)実施 ・SCの活用(カウンセリング生徒50件, 保護者14件) ・発達障がい支援員の活用(8月を除き月1回派遣) 連動してケース会議適宜開催 ・定期健康診断受
--	--	---

	<p><保健体育> 保健及び体育の授業の充実 【取組指標】 ・ 体育理論の授業を、年6回以上実施 ・ 種目選択制の実施 ・ ゲームの運営・審判の実施</p> <p>新体力テストの生徒の目標設定を行い、目標達成に向けた取り組みの中で意欲の向上を図る。 【取組指標】 年度当初に新体力テストの実施。 【成果指標】 新体力テストの総合得点を男女ともCランク以上を80%以上、Aランクを各学年男女とも20人以上。</p>	<p>診率 100%:達成した</p> <p>・1、2年生と3年生スポーツ科学コースを対象に体育理論を実施。</p> <p>・新体力テスト Aランク:1年53名・2年44名・3年33名 Cランク以上:84.7%</p>	
⑤	<p><総務> 地域の行事に生徒を引率することで、地域の人に生徒の様子を見てもらう。 【取組指標】 クラブ単位で参加する。</p>	<p>A 笹川ふれあい春祭り 31人 B 笹川地区防災訓練 20人 C 東日野大念仏 2人 D 笹川ふれあい文化祭準備 5人 E 笹川ふれあい文化祭 14人 F 四郷地区ふるさと祭 5人 G 高花平地区文化祭 19人 H 花いっぱいプランターづくり 7人 I あすなろう鉄道バレンタイン列車 9人 J 日永梅林まつり 9人</p> <p>・吹奏楽…A,E,G ・JRC…A,B,H ・写真…A,B</p>	

	<p><芸術科></p> <p>地域に愛される学校となるために、地域（四郷地区、高花平地区、笹川地区）の文化祭等へ美術作品、書道作品の展示出品や音楽演奏発表を積極的に行う。本校の特色である芸術コース発表会を1月に実施し、地域の方や四日市市民にご来場いただき四日市四郷高校の特色ある教育活動を広く理解してもらう。</p> <p>【取組指標】 四日市記者クラブ等へ足を運び、新聞などの広報機関への宣伝依頼を行う。</p> <p>【成果指標】 1月の芸術コース発表会への来場者数2,000人以上。</p> <p><保健体育></p> <p>出前授業の実施。運動部による地域のイベントへの参加。</p> <p>【取組指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元中学校を対象とした出前授業を年1回実施。 ・校外活動への積極的な参加を促す <p>三重県体育科・コース連絡協議、交流会の実施。</p> <p>【取組指標】 体育の授業内のスポーツ科学コースの交流を通じ、他校との親睦を深める</p> <p>【成果指標】 競技会での優勝</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・茶道…A ・バドミントン…B,C ・テニス男子…D ・美術…F,G ・書道…I,J ・生徒会…C,H <p>・芸術コース発表会を1月18日、19日に実施した。2日間の来場者は約1,600人であった。宣伝努力が不足であったので、来年度はさらに早い時期より広く案内宣伝し来場依頼していく必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内部中学校への出前授業を1月に実施。 ・各クラブにおける地域貢献活動実施 <p>・交流を深めるも、優勝には届かなかった。</p>	
--	---	--	--

改善課題

- ・基礎学力の向上を目指し、基礎力診断テスト D3-の減少で学力の底上げはされてきたが、日常的に学習を行う習慣が身につけていないため、基礎力診断テストのB層、A層の人数が増加していない。
- ・オープンキャンパスへの参加の勧めや進学者への課外、創郷の授業や進路見学会の開催など進路を考える機会を多く作っているが、進路未決定者や進学への準備が遅い生徒が多い。
- ・夏休み後の生活習慣が悪くなる生徒が多いため、2学期以降の欠席・遅刻やルール・マナー等を守る規範意識が低下している。
- ・地域活動において生徒一人一人自らすすんで参加する雰囲気に至っていない。

(2) 学校運営等

項目	取組内容・指標	結果	備考
①	<p><教務> 新学習指導要領に対応する教育課程の作成 【取組指標】 カリキュラム委員会を通し、また各教科と連携し教育課程を作成する。 【成果指標】 教育課程表の骨子を作成する。</p> <p><英語科> 新しい大学入試, 学習指導要領に応じた4技能向上のための指導と評価を行う。 【取組指標】 授業にリスニングおよびスピーキングを導入し, 定期考査または授業の中でリスニングテスト・スピーキングテストを行う。</p>	<p>・コース制の見直しを行っているため次年度に持ち越しとなった。</p> <p>・全学年の定期考査にリスニングを導入。ALT の授業内でスピーキングテストを実施。</p>	
②	<p><教務> 公開授業の実施 【成果指標】 年2回の授業見学週間に合わせて、保護者、近隣中学校、高校に授業を公開する。</p> <p><図書> 四日市市立図書館や三重県立図書館など、地域との共同活動に参画。また、情報発信を行う。 【取組指標】 ・「ビブリオバトル」大会その他に参加。 ・HPの更新 (年12回) ・家庭向け図書館だより発行 (年2回)</p> <p><総務> 学校行事に地域の方や保護者を招待することで、生徒の様子を見てもらう。 【取組指標】 ・案内プリント・絆ネット・ホームページで情報発信をする。 ・行事等は1ヶ月前には案内する。重要な案内はきずなネットでも念を押す。 ・ホームページは半月に一度は更新する。 ・参加状況やアンケートの結果を分析し、次年度の公開のや</p>	<p>・年3回実施</p> <p>・「ビブリオバトル四日市決戦」5人参加 ・HP掲載(更新6回) ・家庭向け図書館だより発行できず。</p> <p><保護者> ・体育祭…186人 ・文化祭1日目…82人 ・文化祭2日目…97人 <地域の方> 文化祭2日目 ・たんぼぼ…7人 ・共栄作業所…35人</p>	

	り方を改善していく。	<ul style="list-style-type: none"> ・西日野にじ学園…73人 ・中学生見学会 ・中学生…395人 ・保護者…110人
③	<p><教務> 年度末・年度初めの多忙期の業務の見直し 【取組指標】 講座編成は12月末、クラス分け案を1月末までに作成する。</p> <p><進路指導> 分掌内の業務分担の見直し 【取組指標】 各自の業務内容を具体化し、分担を再構成する。どの業務に誰が責任をもってあたるのか明確化し、進路指導部からリードしていける体制をつくる。各自が業務記録をつける。年度末に業務を分類分けする。就職・進学ごとに適切な業務を振り分ける。</p> <p><事務室> 原則、週1回ミーティングを行い、事務室内での情報共有を図るとともに、全ての業務内容を効率化・省力化の観点から見直して取り組む。 【成果指標】 時間外勤務時間数の削減／対前年度5%減 265.5⇒250時間</p> <p><人権> 学年・生徒指導部・進路指導部・管理職などの各部署との連携を密にとり、人権的問題への対応をおこなう。 【取組指標】 人権推進委員会を通じて、気になる生徒に注目し、情報を収集し、迅速な対応ができるように準備する。また、常日頃から生徒の様子に注意する。 人権推進委員会の資料をあらかじめ作成し、データとして各委員に先に提示し、会議時間の削減をおこなう。 【取組指標】 毎回会議前に、作成資料をデスクネットで配布する。</p> <p><保健> 教職員による生徒の救急対応や生徒理解と生徒支援に役立て</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・達成できた 1月に各教科・各学年に提示済み。 ・見直しはできていない。 ・10%減 265.5⇒240時間 ・日頃気になる生徒に注目をして、情報収集をしていたが、1件差別事象が起ってしまった。 ・作成資料を事前にデスクネットで送信した。 ・エピペン講習実施(5

	<p>ると共に、生徒が安心して過ごせる環境を整える。</p> <p>【取組指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年1回エピペン講習 ・年1回特別支援研修 <p><学校マネジメント></p> <p>総勤務時間の縮減に向けた取組</p> <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月80時間超の時間外労働者の年間延べ人数を50%削減。 (44人/年) ・時間外労働時間を月2時間削減。(32.0時間/月) ・休暇取得を年平均1.5日増加。(19.28日/年) <p>【取組指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定時退校日を各月(5月～2月)1日設定し定時退校できる職員の割合85%以上。(82%) ・週1日以上休養日を設定した部活動の割合100%。 (85.2%) ・メモリアル休暇の全職員取得。 ・学校休業日を設定(2日)し、休業できた職員の割合100%以上。(89.4%) ・放課後開催会議が60分以内に終了する割合85%以上。 (84.6%) 	<p>月)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別支援研修実施(6月) <ul style="list-style-type: none"> ・26人(3月末) (-18人 40%減) ・27.6時間/月(2月末) ・17.85日/年(1月末) ・62.3% ・100% ・夏季休暇を除く特休取得率56% ・76.6% ・93.6% 	
④	<p><総務></p> <p>保護者や業者からの問い合わせをまとめ、FAQを作成し、主任以外でも対応できるようにする。</p> <p>【成果指標】</p> <p>「担当でないので分かりません」と返答する者をなくす。</p> <p><事務室></p> <p>ミスは起こるものとの前提で、組織として業務に取り組み、職員間のチェック体制を確立。</p> <p>【成果指標】</p> <p>(会計)事務処理の誤りを無くす/0件</p> <p><学校マネジメント></p> <p>コンプライアンス自己診断シートによるチェックを行うと共に、コンプライアンスミーティング研修を実施する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・FAQを作成・配布し、総務・教務対応できるようにした。また、新しく出てきた内容は追加し、次年度へ対応した。 ・0件 ・実施した 	
改善課題			

- ・新カリキュラムにあわせたコースの見直し。
- ・分掌内の業務分担の見直し。

5 学校関係者評価

<p>明らかになった改善課題と次への取組方向</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域とのつながりを大切にし、「四郷」を知ってもらう機会として地域の文化祭に参加・協力をお願いしたい。 ・地域、社会への「四日市四郷高校」のアピールが足りない。学校の PR を含めてこちらから発信をしていかななくてはならない。 ・進路において、現在の社会情勢等をもっと授業等で教えていき、これからの就業について生徒が困らないようにして行ってほしい。
----------------------------	--

6 次年度に向けた改善策

<p>教育活動についての改善策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各教科で学習習慣が定着できるような方法を考え実行していく。 ・個人面談での情報を学年や進路で共有し、進路未決定者へのアプローチを行いつつ進学への準備の仕方を学年と進路の両方から指導していく。 ・1 学期の三者懇談会での保護者への注意喚起や、夏休み中に気になる生徒への確認・連絡を行うことで、2 学期からの生活習慣が崩れないように対策する。 ・生徒が学校行事や地域での活動に積極的に参加できるよう、支援や案内を積極的に行っていく。
<p>学校運営についての改善策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・コースの見直し・新カリキュラム編成を考える委員会を設置し考えていく。 ・分掌内の業務を見直し、削減できるものは減らしていき業務分担の偏りがないようにしていく。 ・各分掌の主任を中心として、分掌間の情報交換をより密に行い、協働して学校運営を行っていく体制を強化していく。